



サロン便り **春** 号 (令和5年4月)

コロナ禍で、がんサロンの開催ができず、患者さんやご家族との情報交換の場が持てない期間が続いています。そこで、各季節にお便りを出すことにしました。少しでも療養生活の中で、お役に立てる情報をお伝えしていけたらと思います。

緩和ケアチームの ご案内

こんなとき、ご相談ください

からだのつらさ

からだが痛い
食欲がない
からだがだるい

こころのつらさ

ねむれない
不安がある
気持ちが落ち込む

ご家族の悩み

介護の不安
経済的な悩み

緩和ケアは、
がんと診断されたときから始まります

からだや心などのつらさが大きいと、体力を消耗させて、がんの治療を続けることが難しくなります。そのためがんと診断されたときから「**つらさを和らげる＝緩和ケア**」を始めることが大切です。

緩和ケアチームは専門の医師・看護師・薬剤師・がん相談員・公認心理師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士などがチームとなって、主治医・担当看護師とともに苦痛緩和のための支援をします。患者さまやご家族のがんに伴う体や心のつらさをやわらげ、自分らしく過ごせるようお手伝いします。



**笑ったり、語ったり、食べたり、眠ったり、
あなたとあなたの大切なかたが、病気と上手く
付き合えますように・・・お気軽にお問合せください。**

がんサロンに関する問い合わせ
がん相談支援室 若木 0767-52-6611(代)